

第75回

秋田県統計グラフ コンクール作品集

～ コンクールの概要 ～

秋田県統計グラフコンクールは、統計に関する知識を広め、統計の表現技術を高めることを目的として実施しており、今回で75回を迎えました。

今年度は31作品の応募があり、審査会において、特選3作品、入選5作品、佳作2作品が選ばれました。この中から2作品を第73回統計グラフ全国コンクールに出品し、1作品が奨励賞に選出されました。

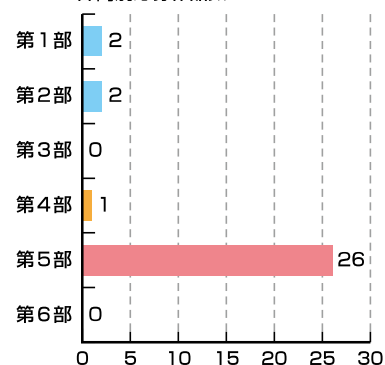
実施結果

(単位: 作品、人)

部門	応募作品	入賞区分				努力賞	参加賞
		特選	入選	佳作	計		
第1部 (小学1、2年生の作品)	2(2)	1(1)	1(1)	—	2(2)	—	—
第2部 (小学3、4年生の作品)	2(2)	1(1)	1(1)	—	2(2)	—	—
第3部 (小学5、6年生の作品)	—	—	—	—	—	—	—
第4部 (中学生の作品)	1(5)	—	1(5)	—	1(5)	—	—
第5部 (小中学生のパソコン統計グラフの作品)	26(26)	1(1)	2(2)	2(2)	5(5)	2(2)	19(19)
第6部 (高校生以上の作品(手書き・パソコン問わず))	—	—	—	—	—	—	—
計	31(35)	3(3)	5(9)	2(2)	10(14)	2(2)	19(19)

※共同制作の作品があるため、作品数よりも人数が多くなっています。

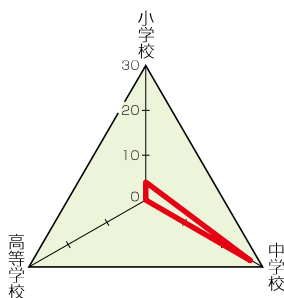
部門別応募作品数



学校種類別応募作品数

(参考)

区分	学校数	作品数	人数
小学校	2	4	4
中学校	2	27	31
高等学校	0	0	0
計	4	31	35

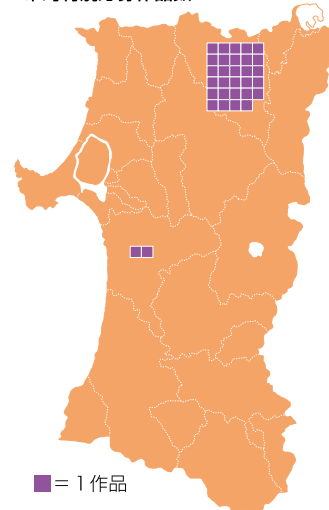


(参考)

市町村	作品数
大館市	29
秋田市	2

※学校所在地の市町村

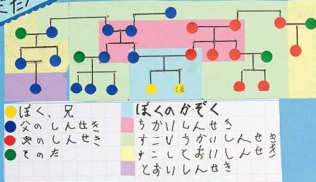
市町村別応募作品数



手ゆびうでのふしぎ

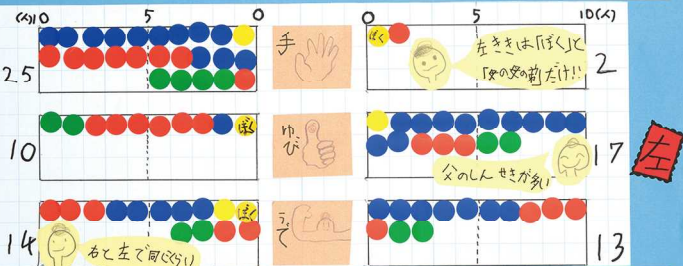
ぼくは左ききです。かぞくではぼくだけ
です。でもゆび組みやうで組みをした
り同じ人がいました。ききゆびやきき
うでもあつのかな？としんせきの人
たちに聞いてみることにしました。

くらべた人27人



インタビュー
カード

名前	性別	年齢	きき	ゆび	うで
だ	お				
き	き		右	左	
ゆ	ゆ		右	左	
う	う		右	左	



本当は左ききが少
なくてふいふとか、たけど
ゆび組みやうで組みが
同じ人がいてあんどし
た。父、母それぞれで
まともりがききたのが
おもしろいなと思つた。

第1部

(小学1、2年生の作品)

特選

全国
コンクール
入賞(奨励賞)

秋田大学
教育文化学部附属小学校 2年

加賀屋 慶志さん

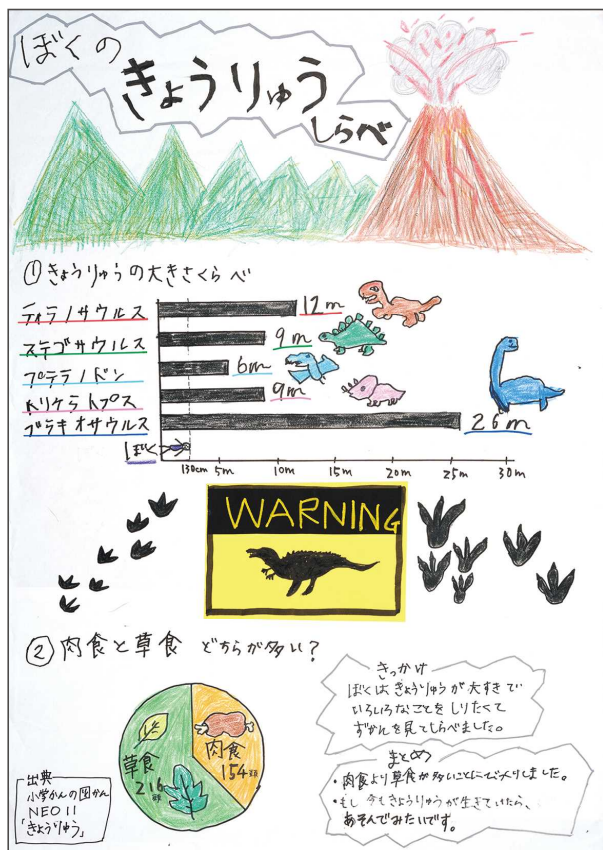
全国コンクール出品

- ・色分けし、分析しやすいように工夫している。
- ・多くのデータを集めて、正確な分析をしている。

入選

大館市立
扇田小学校 2年
吉原 旺我さん

- ・恐竜の絵が特徴をとらえていて
分かりやすく見やすい。
- ・挿絵などが工夫されている。



第2部

(小学3、4年生の作品)



大館市立
扇田小学校 3年
萬田 沙優花さん

- ・時勢に合ったテーマで良い。
- ・様々な視点から調査・分析している。



秋田大学
教育文化学部附属小学校 4年
佐々木 奏祐さん

- ・テーマの設定、着眼点が面白い。
- ・多くのデータを集めて、正確な分析をしている。

カラフルチョコは 何色がタリ？

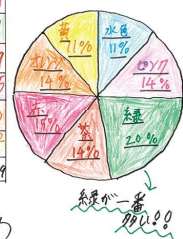
きっかけ

カラフルチョコを食べていたら茶色がタリと思ったが、他のものそうなのか気になったから。

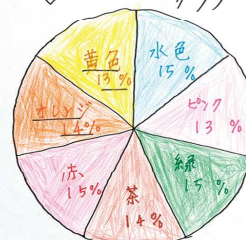
〈カラフルチョコ 10本 (124本) を数えてみた〉

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
お茶	21	17	14	13	23	21	22	19	17	18	185
桃	19	22	18	21	12	16	15	12	14	18	167
お花	14	21	26	15	15	15	21	12	23	19	181
お花	15	15	17	19	22	16	19	22	20	14	199
お花	20	14	19	17	17	23	12	22	21	20	189
お花	15	22	17	20	17	18	21	17	15	18	180
お花	21	14	14	20	19	16	15	21	15	17	192
	125	125	125	125	125	125	125	125	125	124	1249

一番色の差が
大きかった③のグラフ



↓ 全部を合わせた
グラフ



まとめ

1つ1つをくらべると
多い色や少ない色が
あったけど、全体では見てみたら
同じくらいでわたりました
1本に入っているカラフルチョコ
の数が124だったことに
びっくりしました。
じつは、実際に作っているか
見てみたいですね。

第4部

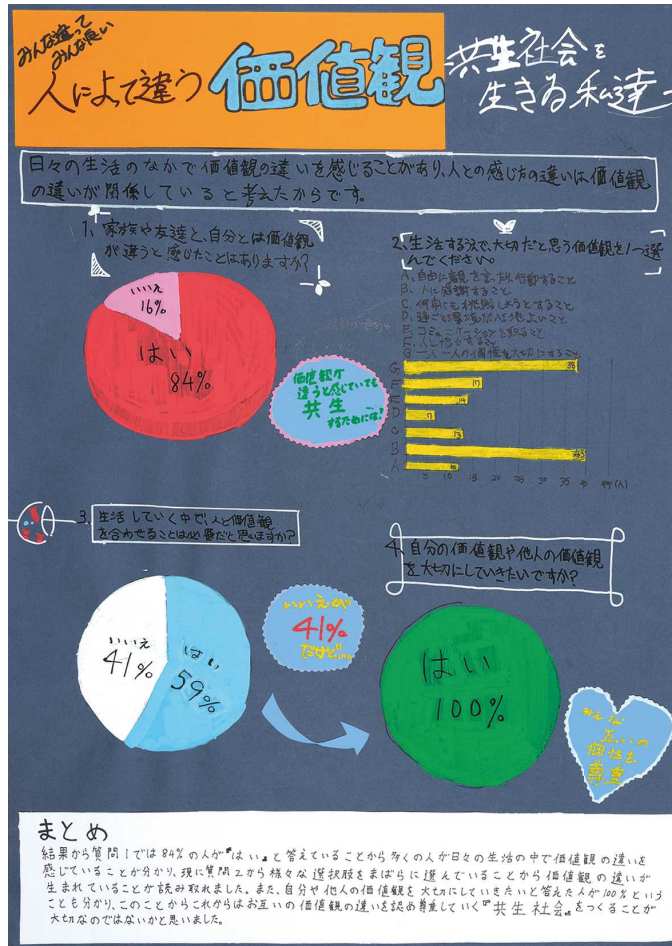
(中学生の作品)



大館市立比内中学校

川口 李月さん 3年
羽澤 一華さん 3年
野呂 柚稀さん 3年
山口 愛桜さん 3年
関本 優真さん 3年

- ・Q&A形式で分析が良くできている。
- ・多くの調査結果を分析し、適切な結論が導かれている。



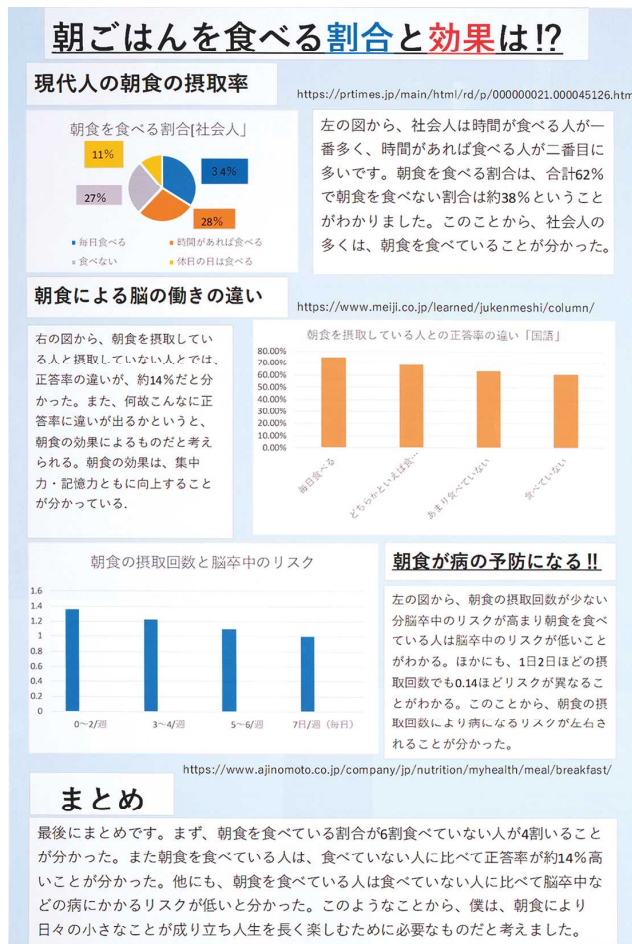
第5部

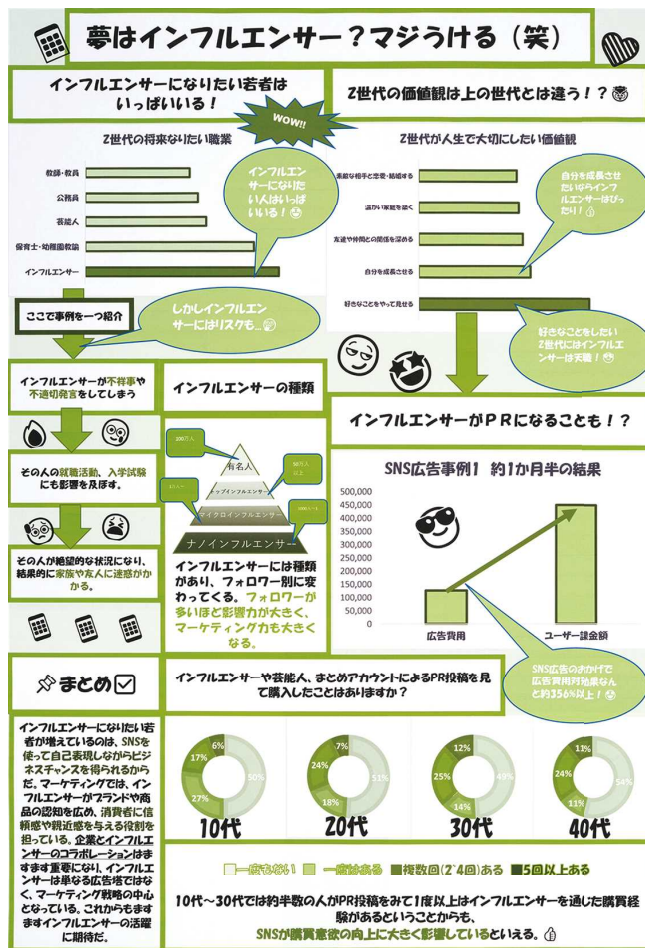
(小中学生のパソコン)
統計グラフの作品



秋田県立
大館国際情報学院中学校 2年
若松 幸輝さん

- ・グラフと各コメントが、バランスが良く見やすい。
- ・テーマが身近で面白い。





秋田県立
大館国際情報学院中学校 3年
高松 琉珂さん

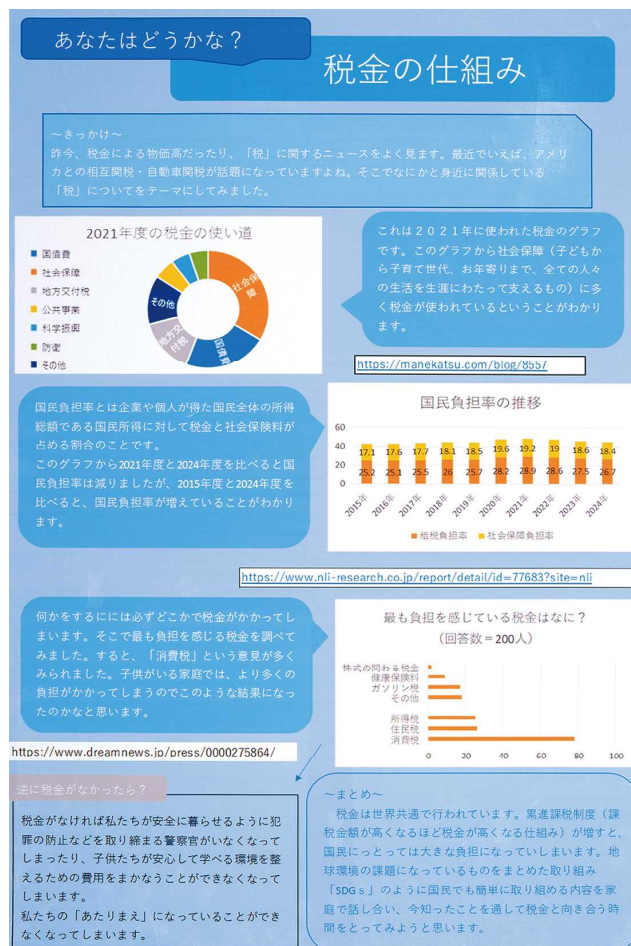
全国コンクール出品

- ・テーマの着眼点が面白い。
- ・緑色の濃淡を工夫しており、見やすく良い。



秋田県立
大館国際情報学院中学校 1年
多賀谷 依愛さん

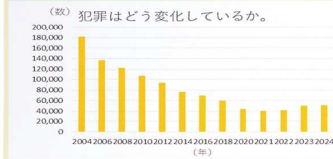
- ・グラフの構成が分かりやすい。
- ・様々な視点から分析して良い。



あなたの周りにある犯罪

みなさんはどのような犯罪が増えていると思いますか。最近、犯罪のニュースが増えていると感じ、犯罪の変化について、気になったので調べてみることにした。

【考えたこと】 私は犯罪の数が年々増えてきていると思う。
なぜなら、最近犯罪のニュースが増えてきているから。



～左のグラフからわかること～

- ・年々犯罪数が少なくなっている。
- ・2021年が一番犯罪数が少ない。
- ・2004年が一番犯罪数が多い。

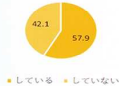
なぜ、犯罪は減ってきているのか。
・私は犯罪に対する対策が増えてきているからだと思った。

なぜ窃盗が一番多いのか!?

【予想】 右のグラフからみて

- ・ばれにくいから窃盗が多いと思う。
- ・身近で手がつけやすいため、窃盗を行う人が多いと思う。

防犯対策をしている!?



犯罪を減らすために私たちができることは?

～身近な面～

- 自転車のカギを抜く。
- 出かけるときは、家や窓の戸締りをしっかりする。
- 犯罪に巻き込まれそうな場所には、用がないときは自ら行かない。

～全体的な面～

- 不審な人がいたり、声をかけられたりしたら、声を上げて助けを求める。
- 地域のつながりを大切にする。挨拶など、自分たちができる対策はたくさんある。

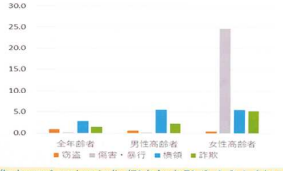


犯罪情勢：検察庁 (kensatsu.go.jp)

なぜ窃盗が一番多いのか!?

調べた結果、"決定的な証拠がないから"だということが分かった。また、下のグラフから女性高齢者が狙われる割合が多いことがわかる。

(%) 狙われやすい年齢層は?



まとめ

年々犯罪は減っているが、少しずつ増えてきていることが分かった。また、犯罪は窃盗が一番多かった。今後犯罪に巻き込まれないように、家や窓の戸締りや地域とのつながりを大切にする必要がある。

第5部

(小中学生のパソコン)
統計グラフの作品

佳作

秋田県立
大館国際情報学院中学校 2年
佐藤 海菜さん

- ・黄色の濃淡を工夫しており、見やすく良い。
- ・様々な視点から調査・分析して良い。

佳作

秋田県立
大館国際情報学院中学校 1年
小嶋 彩桜さん

- ・時勢に合ったテーマで良い。
- ・グラフ、挿絵の配置が良く、見やすい構成である。

食品ロスを減らすためには

調べた理由

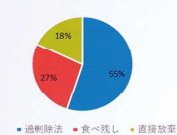
食品ロスを減らすために何をしたらいいか知ったから

食品ロスとは

まだ食べられるのに捨ててしまう商品のこと家庭や飲食店、スーパーなど様々な場所で発生している

【家庭】

家庭における食品ロス



過剰除去

食べられる部分まで過剰に除去して破棄
食べ残し
食事として使用されていたが食べ残して廃棄
直接廃棄
消費期限切れや賞味期限切れによりそのまま廃棄

食品ロスの半分は家庭から!!

【日本と世界】

世界の食料援助量
約390万トン

日本の食品ロス
612万トン

一世界でで飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料援助量の約1.6倍!!
国民1人当たり換算すると毎日お茶碗一杯分の食料を捨てていることになります。

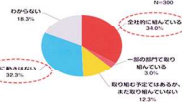
削減目標と取り組み状況

(1)



(2)

食品ロス削減の取り組み状況



https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2010/spe1_01.html

<https://www.uchida.co.jp/system/report/20210012.html>

日本では事業系食品ロスを、2030年度までに2000年度比で半減するの目標を立てています。同じく家庭系食品ロスについても、2030年までに半減させる目標を設定しています。

(2)のグラフを見ての通り、取り組みでいる人が半分以上です。

目標を実現するため、1人1人が現状を理解し、進んで削減に取り組むことが大切だと思います。

一人一人が出来る「食品ロスの減らし方」



このように、家庭での取り組みは難しいことではなく、今からすぐに始められることばかりです。私たちが未来を支える一員として、責任をもって、行動することが少ない資源を無駄にせず、すべての人が食べることに困らない、豊かな社会につながると思います。

https://www.nippon-foundation.or.jp/journal/2023/84322/food_loss

第75回 秋田県統計グラフコンクール募集要領

1 目的

統計に関する知識を広め、統計の表現技術を高めるため、県内の小学生以上の児童、生徒、学生及び一般から統計グラフ作品を募集し、優れた作品を表彰するほか、公益財団法人統計情報開発センターの主催する第73回統計グラフ全国コンクール（以下「全国コンクール」）中央審査へ出品する作品を選出します。

2 主催

秋田県

3 後援

秋田県教育委員会、秋田市教育委員会、
秋田県教育研究会情報統計教育部会

4 応募部門・課題・規格等

秋田県内に在学・在住する方で、かつ、応募部門に当てはまる方。

応募部門		課題	規格等
第1部	小学1、2年生の作品	自由 ただし、小学4年生までの児童のみで制作する場合は、児童が自ら観察又は調査した結果をグラフにしたものとします。	ア 規格仕上げ寸法 72.8cm × 51.5cm 1枚（B2判）。縦横どちらでも可。貼り合わせてもB2判であれば可。 規格外の作品については、審査の対象外とします。
第2部	小学3、4年生の作品		イ 紙質・色彩 自由（単色でも可）。パネル仕上げしたり、セロハンカバーを掛けたりした作品の応募はできません。
第3部	小学5、6年生の作品		ウ 応募作品数 制限なし。1作品が2枚以上にわたる「シリーズもの」は応募できません。
第4部	中学生の作品		エ 制作者 合作の場合は5人以内。
第5部	小中学生のパソコン統計グラフの作品		
第6部	高校生以上の作品（手描き・パソコン利用は問いません）		

注1 小中学生の作品で、グラフ部分をパソコンで作成したもの（下書きしたものを含む）は、第5部に応募してください。

注2 義務教育学校の「前期課程」は「小学生」、「後期課程」は「中学生」に、中等教育学校の「前期課程」は「中学生」、「後期課程」は「高校生」に、特別支援学校の「小学部」「中学部」「高等部」はそれぞれ「小学生」「中学生」「高校生」に、「短期大学」、「高等専門学校」、「専修学校及び各種学校」は「高校生以上」に相当するものとします。

5 提出先・締切・送付方法・添付書類

- 提出先 秋田県企画振興部調査統計課
- 締切 令和7年9月1日（月） 17:00（必着）
- 送付方法 持参、郵送等
- 添付書類
ア 応募票（様式1）
イ 添付資料（6（1）ウ参照）
ウ 応募作品目録（様式2）
エ 個人情報取扱同意書（様式3）

6 応募上の注意・指導上の注意

- 応募上の注意
ア 応募作品は、自分で創作したもので未発表のものに限ります。
イ 第三者（応募者以外の者をいう。）が作成したイラストや写真等を使用しないでください。（利用許諾の有無にかかわらず、第三者が作成した著作物の全部又は一部の使用を禁止します。）
ウ 作品表面に記載する事項及び添付する資料は次のとおりです。

（区分）調査方法別	作品表面に記載する事項	添付する資料
自己の観察又は調査による場合	観察又は調査の方法	観察又は調査の記録
外から資料を得た場合	取材資料の出所・統計資料の時点	統計表（取材資料）

(2) 指導上の注意

- 児童、生徒を指導する際は、次のことについて特に留意してください。
- ア 資料の選択や取扱方法についての示唆、助言は差し支えありません。
- イ グラフの作成は児童・生徒の自主性を尊重し、技法的に介入しないください。
- ウ 切り紙又は折り紙をのり付けした作品、絵の具やポスターカラーを厚く塗り重ねた作品などについては、はがれ落ちることがないように十分に指導、点検をしてください。

7 作品の審査

- 審査基準 応募作品は、次の基準によって審査します。

ア 共通基準	（ア）誤りはないか	目盛り、単位の取り方、文字・数字、脱字、記入漏れ。
	（イ）書き落とすはないか	資料の出所、観察・調査の方法。
	（ウ）的確か	見出し（主題）の表現、配色。
イ 各別基準	（ア）第1部、第2部、第5部（うち小学4年生以下の作品）	・身近な課題をとらえて、ふさわしい観察・調査をし、グラフに表しているか。
	（イ）第3部～第6部	・統計データを正しく理解して、グラフ化することによってデータの持つ事象が理解されやすくなるよう、工夫されているか。 ・訴えたい主題が的確にグラフに表れているか。また、主題は斬新で興味を喚起するものであるか。

(2) 審査方法

主催者は審査会を実施し、入賞作品を決定するほか、全国コンクール中央審査に出品する作品を決定します。

- 審査員は、主催者が学識経験者及び行政機関の職員等に委嘱します。

8 入賞区分及び表彰

(1) 入賞区分

- ア 特選 各部1作品以内（賞状及び副賞を贈呈）
- イ 入選 各部2作品以内（賞状及び副賞を贈呈）
- ウ 佳作 各部2作品以内（記念品を贈呈）
- エ 努力賞 各部通して若干数（記念品を贈呈）
- オ 参加賞 ア～エ以外の応募作品について、記念品を贈呈

(2) 表彰

各部特選及び入選は、令和7年度秋田県統計功労者表彰式（11月25日（火））において表彰します。また、表彰式会場においては、特選及び入選作品を展示します。

9 入賞作品及び中央審査出品作品の発表

- 入賞作品及び中央審査出品作品の発表は、審査会終了後、秋田県公式Webサイト「美の国あきたネット」で行います。発表に当たっては、作品のテーマ、制作者の氏名、市町村名（在学者は学校名及び学年）を公表します。学校長又は本人に通知します。
なお、応募にあたっては、秋田県統計グラフコンクール募集要領様式3の個人情報取扱同意書の添付を求めます。（中央審査への出品にあたっては、全国コンクール募集要領別添2の個人情報取扱同意書の添付を求めます。）
- 出品作品の発表、表彰、賞、返却、著作権その他については、全国コンクール募集要領によりします。

10 その他

- 著作権は秋田県に帰属します。また、統計の普及啓発目的のため、印刷物やホームページ等で使用する場合があります。
入賞作品を、転載又はホームページに掲載する場合は、様式4により申請してください。
- 全国コンクールの入選作品については、翌年度末までに、その他の作品については、年度末までに返却します。
- 応募作品は審査のため複製します。また、作品内容及び応募作品目録は調査統計課において統計資料として利用します。

第75回 秋田県統計グラフコンクール 入賞作品一覧

部門	賞区分	全国 出品	テ ー マ	氏 名	学年	学 校 名 等
第1部	特 選	○	手 ゆび うで のふしぎ	加賀屋 慶 志	2	秋田大学教育文化学部附属小学校
	入 選		ぼくのきょうりゅうしらべ	吉 原 旺 我	2	大館市立扇田小学校
第2部	特 選		いのちをまもろう! ～クマと人間がくらすために～	萬 田 沙優花	3	大館市立扇田小学校
	入 選		カラフルチョコは何色が多い?	佐々木 奏 祐	4	秋田大学教育文化学部附属小学校
第4部	入 選		みんな違って、みんな良い。人によって違う価値観	川 口 李 月	3	大館市立比内中学校
				羽 澤 一 華	3	
				野 呂 柚 稀	3	
				山 口 愛 桜	3	
				関 本 優 真	3	
第5部	特 選		朝ご飯を食べる割合と効果は?	若 松 幸 輝	2	秋田県立大館国際情報学院中学校
	入 選	○	夢はインフルエンサー? マジウケる (笑)	高 松 琉 珂	3	秋田県立大館国際情報学院中学校
	入 選		あなたはどうか? 税金の仕組み	多賀谷 依 愛	1	秋田県立大館国際情報学院中学校
	佳 作		あなたの周りにある犯罪	佐 藤 海 菜	2	秋田県立大館国際情報学院中学校
	佳 作		食品ロスを減らすためには	小 嶋 彩 桜	1	秋田県立大館国際情報学院中学校

そのほかの応募作品(努力賞・参加賞)

(努力賞)

【第5部】

- ・全国の交通事故について
- ・地球温暖化はどうやって対策できるの?

(参加賞)

【第5部】

- ・中学生って数学苦手ってホント?!
- ・日本人の平均睡眠時間～今と昔を比べて～
- ・小中学生の1日のゲーム時間量
- ・中学2年生は勉強嫌いのピーク?!
- ・米の生産量と消費量
- ・中学生の勉強時間
- ・大事すぎる睡眠
- ・世界で一番使われている言語は?

- ・熱々な地球
- ・日本で流行っている病気と対策について
- ・死亡事故の原因とは?
- ・夏に起こる事故は?
- ・日本のSDGsについて
- ・外国人観光客が増えているのはなぜ?!
- ・大館市の人口推移～人口が減少しているって本当?!～
- ・秋田県の不登校者数・いじめについて
- ・国別睡眠時間
- ・虫は知られている?
- ・人口の増える国と減っている国の違いとは

作品全体を通した講評として、ユニークなテーマを設定し、調査データを正確にグラフに表し、見やすく分かりやすい作品が入賞作品に選ばれました。

調査したデータをグラフにまとめるだけではなく、調べてみようと思ったきっかけ、グラフを通して伝えたいポイントを整理してわかりやすく主張することで、見る人を引きつけ、心に残る作品となります。

秋田県では出前講座として「統計グラフコンクール準備講座」を行っていますので、御活用ください。

また、掲載作品を複製・転載する場合は、「秋田県統計グラフコンクール入賞作品転載承諾申請書」により申請願います。

第75回 秋田県統計グラフコンクール 作品集

2025年11月20日発行

秋田県企画振興部
調査統計課

〒010-8570

秋田市山王四丁目1-1

Tel 018-860-1251

秋田県公式Webサイト

「美の国あきたネット」

<https://www.pref.akita.lg.jp>